ソフトコール

『 エスコート 』

取扱説明書

このたび、ソフトコール『エスコート』をお買い求め頂きまして
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
本機の機能を十分に発揮させ効果的にご利用ください。
お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管してください。

目次

（P）

1. 特　長 …… 3

2. ご使用上の注意 …… 3

3. 本製品の基本システムと使い方（例） …… 4

4. 各機器の名称とはたらき …… 5

　1、受信機（LJ－RXA） …… 5

　2、送信機（LJ－TEA） …… 9

　3、消し機（LJ－ERA） …… 10

5. 受信機の機能設定 …… 12

6. 送信機の機能設定 …… 13

7. 消し機の機能設定 …… 14

8. こんなときは …… 15

9. 一般仕様 …… 16

1. 特　長

1、ソフトコール エスコートは、受信機、送信機、消し機で構成されています。
　デジタル方式の特定小電力無線呼び出し装置です。

2、送信機は最大100台（0～99番）まで、使用できます。

3、受信機は送信機の番号をチャイム音と共に4つの表示枠に優先順に表示します。

4、チャイム音は8種類、音量調整、表示時間等の設定が可能です。

5、受信機は最大50m～100mの範囲で、送信機からの受信が可能です。

6、40種（00～39）の無線チャンネルの使用が可能です。

2. ご使用上の注意

本製品は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明品です。
機器内部の改造等は一切禁じられております。改造された製品を使用しますと、
電波法に違反して罰せられます。

2．1　受信機のご使用上の注意

● 受信機は、以下の場所に設置しないでください。
　・直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体の近い場所
　・湿度の高い場所、水のかかる場所
　・テレビや冷蔵庫の近くなど強力な磁界やノイズが発生する場所

● 電源コードの抜き差しには、必ず先端のプラグを持って行ってください。
　コードを直接引っ張りますと、断線、ショート及び感電の原因になります。

● 内部に 水や異物を入れないでください。

● ぬれた手で電源コードのプラグに触れないでください。感電の原因になることがあります。

2．2　送信機のご使用上の注意

● 送信機は、以下の場所に設置しないでください。
　・直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体の近い場所
　・湿度の高い場所、水のかかる場所
　・テレビや冷蔵庫の近くなど強力な磁界やノイズが発生する場所

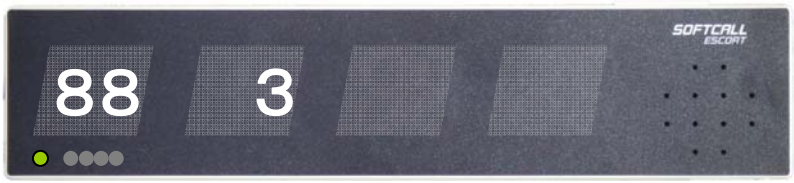
● 内部に 水や異物を入れないでください。

● 床などに落としますと故障の原因となりますので、落下しにくい場所でご使用ください。

3、本製品の基本システムと、使い方（例）

受信機

ピンポーン　ピンポーン　チャイム音が鳴る



呼出

《お客様》　従業員さんを呼ぶため、送信機の呼出ボタンを押す

送信機

押す

ピィと音が鳴る

呼出番号　88

呼出番号　3

《従業員さん》　呼出番号を確認、消去ボタンを押して消去

お客様のテーブルへ

消し機

消去

ピィと音が鳴る

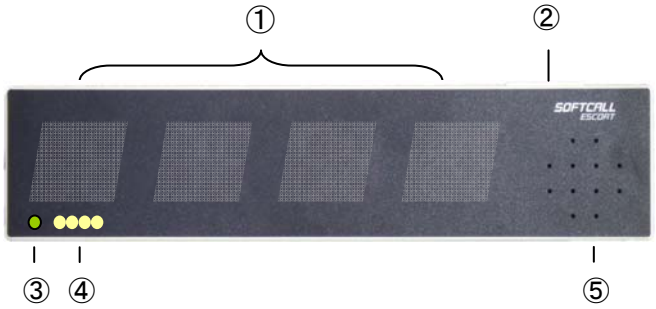
押す

4、各機器の名称とはたらき

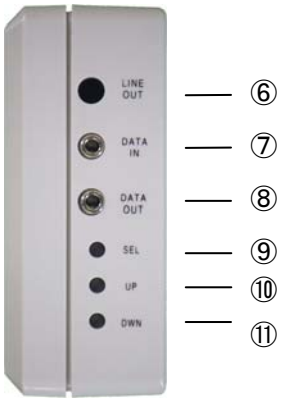
4．1　受信機（LJ－RXA）

4．1．1　各部の名称とはたらき

正面



側面



①番号表示枠（1枠～4枠）

・送信機から信号（呼出番号）があると、チャイム音と共に呼出番号が表示されます。（チャイム音設定時）

・呼出番号は、優先順に左から表示されます。
（呼出番号は最大で16台まで、受信機内部メモリーに記憶できます）

・いたずら防止の為、同一送信機においては一度押されてから10秒間は再度押されても受信はしません。10秒以降に押された場合は、点滅表示に切り変わります。（時間は10秒のほかに、30秒の設定もできます）

②電源ソケット

・同封の電源コードを使用して、コンセントにつないでください。

③電源ランプ（緑色）

・通電しているときは、ランプ部が点灯します。

④確認表示ランプ（赤色）

●下記の3種類の中から設定された機能を表示します。

・1）受信レベル確認

受信電波の強さを4段階のランプ点灯にて表示します。

・2）バッテリーLOW

受信機に表示された呼出番号の送信機の電池交換が必要な場合に、表示の枠番に対応したランプが点灯します。

（例、確認表示ランプ2番目のランプ点灯時は、受信機の2枠目に表示された送信機の電池残量が少ないことを示しています）

・3）メモリー表示

4枠表示外の記憶された呼出番号がある場合に、その記憶数に対応してランプが点灯します。（記憶が4つ以上ある場合でも点灯は4つです）

⑤スピーカー

・送信機からの呼出番号の信号を受信したとき、チャイム音が鳴ります

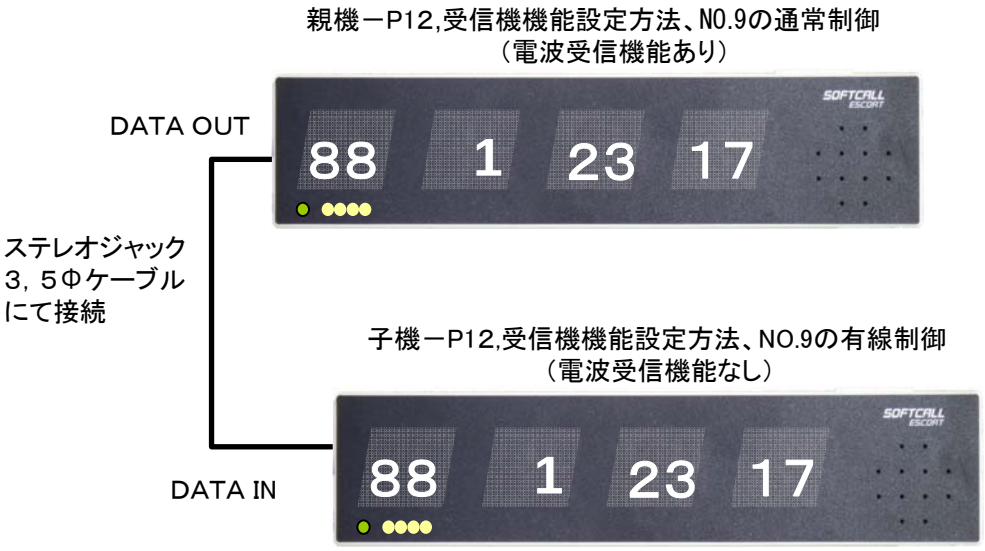
⑥LINEOUT（外部スピーカーアンプ用出力）

・別売の外部スピーカー接続時使用します。

⑦DATA IN （データーインプラグ）

⑧DATA OUT（データーアウトプラグ）

受信機を複数台使用する時使用します。（モニター仕様）



⑨SEL（セレクトボタン）穴

・受信機の各設定をする際の開始及び設定項目切替ボタンです。

⑩UP（アップ用ボタン）穴

・設定の詳細を選択する際に使用するボタンです。

⑨DWN（ダウン用ボタン）穴

・設定の詳細を選択する際に使用するボタンです。

4．1．2　各種設定（項目番号）

設定及び変更はP12の設定方法をご参照ください。

● チャイム音量（1）　＊　出荷時は“3”に設定

・チャイム音の音量です。
・お店の雰囲気にあわせてお選びください。
　0、音なし
　1、最小音 ～ 6、最大音

● チャイム音（2）

・呼出チャイム音の音色です。　＊　出荷時は“1”に設定
・お店の雰囲気にあわせてお選びください。
　0、音なし
　1、ピンポーン1
　2、ピンポーン2
　3、ピンポーン3
　4、ピンポーン4
　5、カウベル（入店チャイム音）
　6、鈴音
　7、カッコー
　8、ししおどし

● 消去音（5）　＊出荷時は“0”に設定

・表示された呼出番号が、消去される際に鳴るチャイム音の音色です。
・主に消し機併用しない場合の使用をお勧めします。
　0、音なし
　1、ピンポーン1
　2、ピンポーン2
　3、ピンポーン3
　4、ピンポーン4
　5、カウベル（入店チャイム音）
　6、鈴音
　7、カッコー
　8、ししおどし

● 表示明るさ（6）　＊出荷時は“2”に設定

・呼出番号をLEDで表示する際の明るさです。
　0、暗い
　1、少し暗い
　2、普通
　3、明るい

● 表示タイマー（7）　＊出荷時は“0”に設定

・表示された番号を自動的に一定時間で消去させることが出来ます。

0、無限表示
1、10秒
2、30秒
3、60秒
4、120秒

● 受信機制御（8）　＊出荷時は“0”に設定

0、通常制御（標準仕様、モニター用親機仕様）
1、有線制御（モニター用子機仕様）
2、電波制御（使用場所の電波状況の確認が出来ます）

● チャンネル（9）　＊出荷時は“00”に設定

・隣接する店舗等との混信をさけるために設定します。
チャンネルは“00”～“39”まで可能です
（変更の場合はシステム全てのチャンネル変更が必要になります）

● 確認表示ランプ（A）　＊出荷時は“0”に設定

・P6、④項参照
0、受信レベル確認
1、バッテリーLOW表示
2、メモリー表示

● いたずら防止（b）　＊出荷時は“0”に設定

・P5、①項参照
0、最初の受信から10秒間は同じ呼出番号の信号を受信しない
1、同じく30秒間は受信しない

● 表示ゼロサプレス（1桁数字の前に0表示）（C）　＊出荷時は“0”に設定

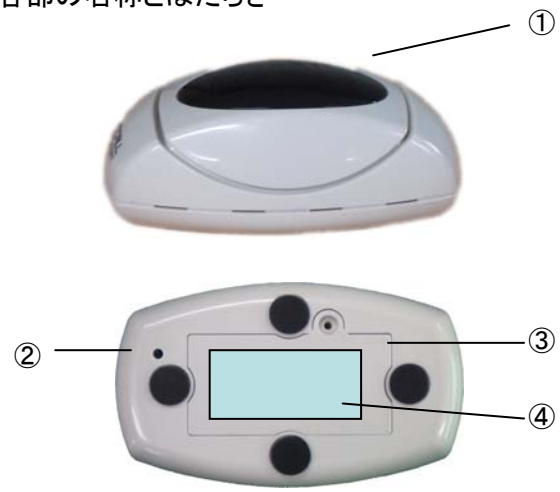
・1桁の数字が見づらい時に設定してください。
0、“0”がない （例、 1）
1、“0”がつく （例、01）

● 消し機からの電波操作設定（d）　＊出荷時は“0”に設定

・送信機の呼出番号及びチャンネル、消し機のID番号及びチャンネルの設定（P13、P14）の際、受信機のセットアップモード切替だけを消し機から電波操作することが出来ます。
0、出来ない
1、出来る

４．２ 送信機（LJ－TEA）

４．２．１ 各部の名称とはたらき



①呼出ボタン

・ボタンを押すと「ピッ」とブザーが鳴り、予め設定された呼出番号の信号が受信機に送られます。ただし、一度押してから2秒以内に再度押されても送信はしません。（電波法規則による）

②設定ボタン穴

・送信機の呼出番号、チャンネルを設定及び変更するときに使用します。

③電池ボックス（蓋）

・電池交換の際、ビスをはずして蓋を開け、電池交換してください。

④ラベル

・送信機に予め設定されたチャンネル及び呼出番号が表示されています。

４．２．２ 呼出番号設定

● 呼出番号は0番～99番まで設定可能です。

設定及び変更はP13の設定方法をご参照ください。

４．２．３ チャンネル設定

出荷時は“00”に設定

● チャンネルは“00”～“39”まで設定可能です。

設定及び変更はP13の設定方法をご参照ください。

４．２．４ 電池交換

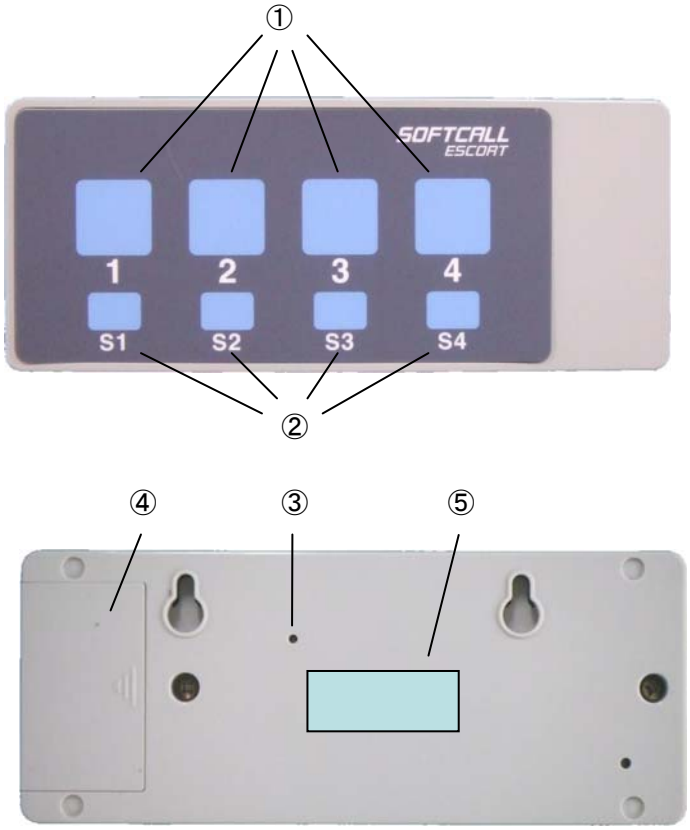
● 呼出ボタンを押しても反応がなければ電池の寿命ですので交換してください。

● 交換時はすべての送信機の電池交換をお勧めします。
（単4電池×2本）

● 電池交換に際しては、電池の極性を間違えないように注意してください。

4．3　消し機（LJ－ERA）

4．3．1　各部の名称とはたらき



①消去ボタン（1～4）

● 呼出番号の個別消去

消去ボタンの1～4は受信機の番号表示枠1枠～4枠に対応しています。
消去ボタンを押すことにより表示されたそれぞれの呼出番号を消去できます。
（1枠目は消去ボタン1、2枠目は消去ボタン2等）

●呼出番号の連続消去

・受信機の番号表示枠に複数の呼出番号が表示されている場合、1枠目に表示された呼出番号を消去したとき、受信機に表示されていた以降の呼出番号がそれぞれ、1枠目方向に繰り上がりますので消去ボタン1を繰返し押すことで、次々に呼出番号を消去することが出来ます。

・消去ボタン2以降でも、それぞれの対応表示枠以降で同じく連続消去ができます。

②予備ボタン

・S1，S2のボタンは消去ボタン1と同じ機能をもっております。

・S3，S4のボタンは消去ボタン2と同じ機能をもっております。

③設定ボタン穴

・消し機のID番号、チャンネルを設定及び変更する際に使用します。

④電池

・電池交換の際、ビスをはずして蓋を開け、電池交換してください。

⑤ラベル

・消し機に予め設定されているID番号及びIチャンネルが表示されています。

4．3．2 ID番号設定

● ID番号は0から99まで設定可能です。
（注意）送信機の呼出番号とは違う番号にしてください。
（お勧めは90番台です）
設定及び変更はP14の仕様設定方法をご参照ください。

4．3．3 チャンネル設定

出荷時は“00”に設定

● チャンネル登録は00～39まで可能です。
設定及び変更はP14の仕様設定方法をご参照ください。

4．3．4 電池交換

● ボタンを押しても反応がなければ電池の寿命ですので交換してください。
（単3電池×2本）

● 電池交換に際しては、電池の極性を間違えないように注意してください。